

第13巻 第2号 (通巻第24号) 2024年11月発行 ISSN 2187-0292

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 13, Number 2

2024

特集

第52回 埼玉透析医学会 学術集会
プログラム・抄録集

第15回 埼玉アクセス研究会 PROCEEDINGS-2024



埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 13, Number 2

2024

特集

第52回 埼玉透析医学会 学術集会
プログラム・抄録集

第15回 埼玉アクセス研究会 PROCEEDINGS-2024

埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

INDEX

巻 頭 言	73
-------------	----

第52回埼玉透析医学会学術集会 プログラム・抄録集

会場案内図	77
参加者へのご案内とお願い	78
発表論文原稿執筆要項について	80
タイムテーブル	82
プログラム	83
抄 録	
一般演題	87
協賛企業一覧	97

第15回埼玉アクセス研究会 学術集会 PROCEEDINGS-2024

proceedings 目次	101
企業共催セミナーⅡ	102
企業共催セミナーⅣ	105
不適切にもほどがある？ AI時代のVA治療	109
シャントPTAに対するコメディカルの介入	118
一般演題	121

学術集会開催記録	135
2024年施設名簿	136
埼玉透析医学会会則	138
索 引	140

次回開催のご案内

第16回 埼玉アクセス研究会学術集会

会 期：2025年7月20日（日）

会 場：ウェスタ川越 多目的ホール
〒330-0854 埼玉県川越市新宿町1-17-17
TEL：049-249-3777

会 長：中川 芳彦（関越腎クリニック）

副 会 長：四宮 敏彦（大宮中央総合病院）

演題申し込み方法：オンラインによる演題受付とします。
抄録本文を700文字以内でお願いします。

募集期間：2025年3月24日（月）～5月26日（月）（予定）

共 催：埼玉透析医学会

事 務 局：埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター内
清水 泰輔
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981
TEL：049-228-3523
FAX：049-226-6822
E-mail：jinkojin@saitama-med.ac.jp

巻 頭 言

中元秀友教授を偲んで



埼玉透析医学会 会長

岡田 浩一

埼玉医科大学総合診療内科教授・日本透析医学会前理事長の中元秀友先生が令和6年8月28日に永眠されました。前日にはいつも通り勤務されていた現役教授の突然のご逝去は、我々大学病院の職員一同にとって衝撃のニュースでした。埼玉県の透析医療における重鎮のお一人であり、埼玉透析医学会としましてもこれまでたいへんお世話になっており、会員一同を代表してここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

中元先生は私にとって同門の先輩であり、研修医として最初に指導をうけたオーベンのお一人でした。そして右も左も分からない新人である私のしつこい質問に、面倒くさそうにしつつも、いつも親切にそして適確に答えてくださいました。また指輪が食い込んだソーセージのような指先は見た目とは裏腹にとっても器用で、中心静脈穿刺などの繊細な手技や動物実験の細かな処置にたいへん長けており、そのギャップにはいつも驚かされ「先生、器用ですね」とお世辞を言うとうれしそうにされました。オーベン・ネーベンの関係が終わった後はお互いに研究と臨床に忙しく、出向や留学などもあってご一緒できた時間は限られておりました。しかし私が留学から戻ることになった埼玉医科大学には一足先に中元先生が赴任されており、ここでまた准教授・講師としてご一緒することになりました。帰国して早々の浦島太郎状態の私にとって、講師としての医師と教員の責務はかなりの重圧でしたが、中元先生の真似をすることでどうにかそれらしく振舞うことができました。そして二人して鈴木(洋通)腎臓内科の立ち上げに奔走し、昼夜を問わず本当によく働きました。中元総合診療内科の立ち上げの際には、ぜひ手伝ってくれと乞われて兼担准教授として病棟医長を担当しました。「やっぱりお前じゃないとダメだ」という明らかなお世辞にも、頼りにされたことを少し誇らしく思ったことを覚えています。その後私は腎臓内科教授を拝命し、この10年ほどは内科教授として肩を並べることになりましたが、その頃からよく挑発されるようになりました。曰く「俺は透析医学会理事長になったけど、お前はいつなる?」とか、「俺は透析医学会総会の大会長を還暦の年にやれたけど、お前はいつやる?」とか、嬉しそうに言われました。同じ年に腎臓学会総会の大会長を済ませると以前の挑発を忘れていたかのよう澄ましていましたが、お祝いにいただいた寄せ書きのなかに「よくやった。さすがです」というメッセージを見つけました。この時が、大会長を拝命して一番うれしかった瞬間かもしれません。

中元先生、いつの間にか先生と初めてお会いした日から38年の年月が経ってしまいました。その間、いつも先生の頼もしい背中を追いかけてここまで来ました。その背中がもう見れないことを本当に寂しく思います。長い間、お世話になりました。どうぞ安らかにお休みください。

2024年11月2日

52nd Annual Meeting of
Saitama Society for
Dialysis Therapy

Abstract
2024

第52回埼玉透析医学会学術集会

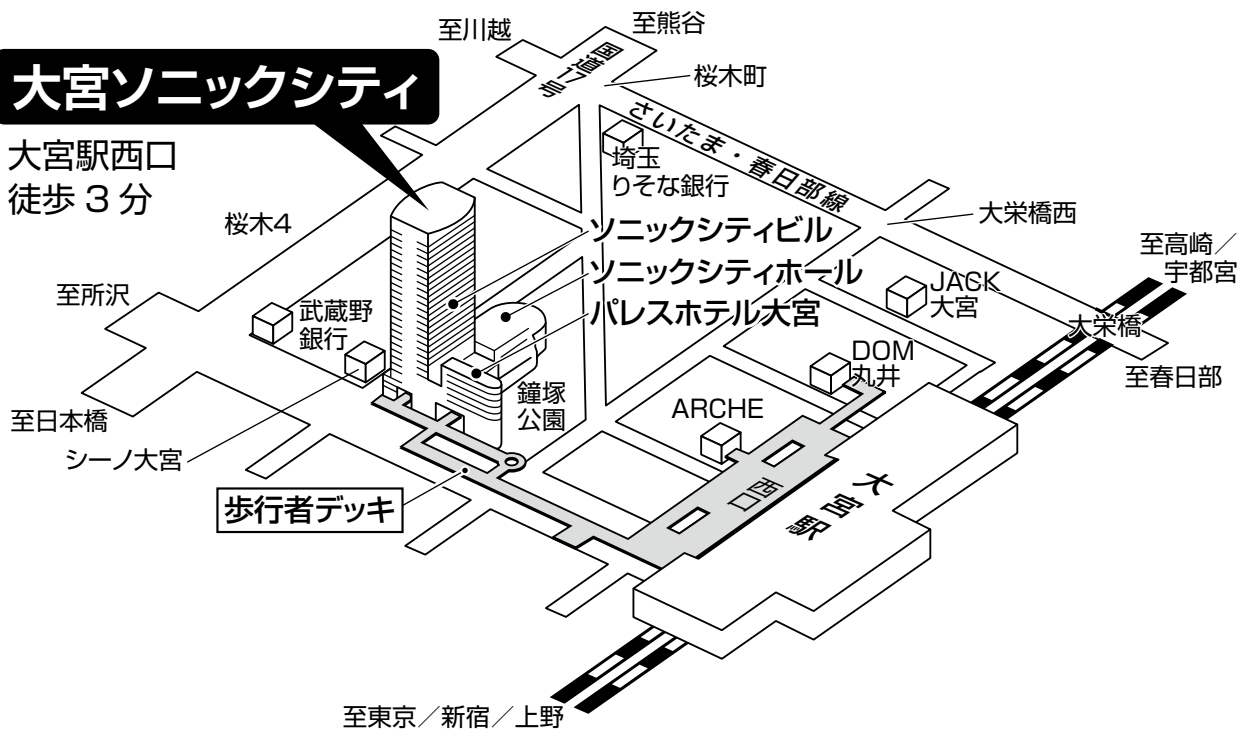
- 大会長：森下 義幸（自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科 教授）
- 日 時：令和6年12月8日（日） 10:00～
- 会 場：大宮ソニックシティホール 4F 国際会議室

事務局：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
埼玉医科大学病院 腎臓内科
TEL：049-276-1611 / FAX：049-295-7338
URL：http://www.ssdt.jp
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

会場案内図

大宮ソニックシティ

大宮駅西口
徒歩3分



お問い合わせ

財団法人埼玉県産業文化センター（大宮ソニックシティ）

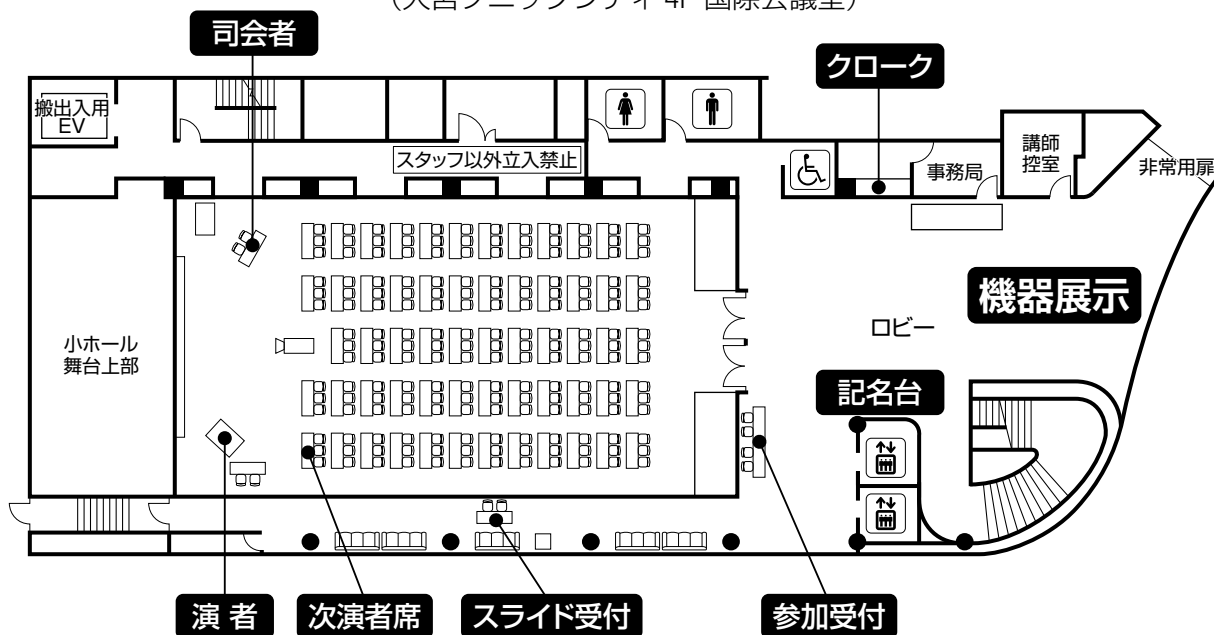
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5

ソニックシティビル5階 私書箱75号

TEL: 048-647-4111 TEL: 048-647-4159

会場見取図

（大宮ソニックシティ4F 国際会議室）



参加者へのご案内とお願い

■参加者の皆様へ

1. 会 期 令和6年12月8日(日)
2. 会 場 大宮ソニックシティー ホール棟 4階 国際会議室
(さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5)
3. 参加受付時間 令和6年12月8日(日) 9:00～15:30
4. 開演時間 9:30～17:00
5. 参加費 一般:1,000円 学生:無料(受付で学生証の提示をお願いします)。
6. 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにしてください。
限られた時間内に討論ができるように、予めマイクの前にお並びください。
7. 携帯電話のご使用はロビーとし、会場内ではマナーモードの設定をお願いします。
8. クロークでは貴重品のお預かりはできませんのでご了承ください。
9. 会場内の喫煙は禁止されておりますのでご了承ください。
10. 一般演題の中から厳正な審査を行い、Best Presentation に対して表彰を行います。
11. 認定医制度による認定更新および新規申請希望者のための研修単位登録票(学術集会参加(5単位)の発行をいたします。参加証をご提示のうえ手続きしてください。
12. 慢性腎臓病療養指導看護師の資格ポイント取得対象学会として認定されていますので、申請に使用される方は参加証明書を大切に保管してください。

■司会・座長の方へ

1. 開始予定時刻10分前にはご準備ください。
2. 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、質問・討論を希望される参加者がいる場合は、司会者が指名し質問・討論が速やかに行われるようご指示ください。

■演者の方へ

1. 一般演題は発表7分、討論3分とさせていただきます。
2. 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみとします。
3. 演者は発表時間の30分前までにスライド受付で必ず動作確認をおこなってください。
4. プレゼンテーションは Win Power Point での作成に限らせていただきます。
5. 発表時間1時間前までに USB 等のメディアを持参し、PC 受付でご確認ください。

6. スライド進行はご自身で演台に設置してある PC を操作の上、お願いいたします。なお、スライドの枚数制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
7. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。後述する「利益相反自己申告に関するスライド例」を参考にしてください。
8. 閉会挨拶時に Best Presentation の表彰を行いますので、ご参加をお願いいたします。
9. 埼玉透析医学会会誌に掲載する発表論文原稿を令和7年3月28日(金)までにご提出ください(詳細はお配りする「記録原稿執筆のお願い」をご参照ください)。

「利益相反自己申告に関するスライド例」

【スライド例】
発表時、申告すべきCOI状態がない場合

第〇〇回 埼玉透析医学会
COI開示

筆頭発表者名 : 〇〇 〇〇

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

【スライド例】
発表時、申告すべきCOI状態がある場合

第〇〇回 埼玉透析医学会
COI開示

筆頭発表者名 : 〇〇 〇〇

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	〇〇製薬
⑦奨学金附金:	〇〇製薬
⑧高附講座所属:	あり (〇〇製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし

発表論文原稿執筆要項について

本学術大会でご発表された内容は、埼玉透析医学会会誌（第14巻1号）掲載用の論文として収録して頂くをお願いしております。下記の会誌投稿に関する内規に承諾していただき、発表スライドの当日受付で提出、もしくは令和7年3月28日（金）までに下記送付先までE-mailまたはCDで提出をお願いいたします。

特別講演・企業セミナー

ご担当頂いた講演について総説としてご執筆賜りたくお願い致します。

一般演題

ご発表頂いた演題について発表論文としてご投稿下さいますようお願い致します。

会誌投稿に関する内規

埼玉透析医学会（以下「当会」という）は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、以下のとおり定める。

1. 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿は、①埼玉透析医学会および埼玉アクセス研究会の学術集会で発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために投稿するものと、②会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものとする。なお、論文は透析医療に関するもの、会員に対し有益な内容で、他誌に発表されていないもの（抄録を除く）あるいは投稿中でないものに限るものとする。また、個人情報保護の観点から容易に個人が特定されないように十分に配慮しなければならない。利益相反がある場合は記載すること。

2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「埼玉透析医学会の施設会員」とする。

3. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word または Text のファイル形式で作成する。
- 2) 文字数は図表を含めず総説は8,000程度、発表論文は4,000程度を目安に作成し、本文には頁をつける。
- 3) ①図表は Word、Excel、Power Point、JPEG、GIF で作成する（写真などは鮮明なものを使用する）。
②掲載は原則的に白黒印刷であるため、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストに配慮する。

③ 図表は本文とは別のファイルを用意し、図表の下に番号を記し、本文中に挿入位置を明示する。

※他誌書から図表を転載利用する場合(自筆も同様)は、著作者ならびに出版元の許諾が必要となる。

4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所には、半角上付で引用順に1), 2) 3~5)のように記載し、著者4名以上の場合は“…, 他” “…, et al”とする。

① 雑誌の場合 著者名：論文名、雑誌名 巻：頁(初め-終わり)、西暦年

② 書籍の場合 著者名：論文名、書籍名(編者名)、頁(初め-終わり)、出版社名、所在地、西暦年

③ 誌名を略記する場合 出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものは Index Medicus の略称に準じる。

④ 「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示する。

4. 論文の体裁

表題頁、本文、文献、図表の順にまとめる。

1) 表題頁には①題名、②著者および共同著者(全員フリガナを明記)、③所属施設名、④連絡先(筆頭者の所属郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス)を記載する。

2) 本文はI. 緒言(はじめに、まえがき)、II. 研究方法(対象、症例、方法)、III. 研究結果(結果)、IV. 考察、V. 結論(結語、まとめ、おわりに)の順序で記述する。

5. 著作権

学会誌の掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、「当会」が保有するものとする。また投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとし、これによる使用料は「当会」に帰属するものとする。

6. 校正

会誌出版社の編集後、著者校正を依頼する。

7. 原稿締切

令和7年3月28日(金)必着とする。

8. 原稿の送付先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

埼玉医科大学病院 腎臓内科

埼玉透析医学会事務局 宛

TEL : 049-276-1611 FAX : 049-295-7338

E-mail : jinnai@saitama-med.ac.jp

※原則として送付いただいたメディアは返却いたしませんのでご了承ください。

2024年12月8日(日) 大宮ソニックシティホール

会 場		展 示
4F 国際会議室		ロビー
9:00	9:00～ 開 場	
	9:30～9:40 開会挨拶	
	9:40～10:40	
10:00	一般演題 1 座長：大島 直紀(防衛医科大学病院 腎臓内科) 池田 直史(社会医療法人財団石心会 さやま腎クリニック 人工透析内科)	9:30 ↓ 17:00
	10:40～11:40 (共催：株式会社カネカメディックス) 共催セミナー I 下肢治療の A to Z to Rheocarna 座長：清水 泰輔(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科) 演者：大熊 慧(三愛病院 循環器内科)	企 業 展 示
11:00	休 憩	
12:00	11:50～12:50 (共催：ノーベルファーマ株式会社) ランチョンセミナー 透析患者の脳内酸素動態に貧血および栄養状態が果たす役割 —亜鉛補充の臨床的意義も含めて— 座長：森下 義幸(自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科) 演者：大河原 晋(自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科)	
13:00	12:50～13:20 埼玉透析医学会総会 会 長：岡田 浩一(埼玉医科大学病院 腎臓内科) 事務局：友利 浩司(埼玉医科大学病院 腎臓内科)	
	13:20～13:30 埼玉腎不全看護研究会の報告	
	13:30～14:20 一般演題 2 座長：塚本 功(埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部) 新井 実延(北里大学メディカルセンター 腎センター)	
14:00	14:20～15:20 (共催：株式会社ヴァンティブ) 共催セミナー II 埼玉県において腹膜透析を普及させるために 座長：岡田 浩一(埼玉医科大学病院 腎臓内科) 演者：清水 泰輔(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科) 星野 太郎(さいたま赤十字病院 腎臓内科)	
15:00	休 憩	
16:00	15:30～16:00 (共催：協和キリン株式会社) アフタヌーンセミナー CKD-MBD 管理のアップデート 座長：友利 浩司(埼玉医科大学病院 腎臓内科) 演者：野原 惇(くぼじまクリニック)	
	16:00～17:00 一般演題 3 座長：星野 太郎(さいたま赤十字病院 腎臓内科) 野原 惇(くぼじまクリニック)	
17:00	17:00～17:10 閉会挨拶・BPA 表彰	

第52回埼玉透析医学会学術集会 プログラム

令和6年12月8日(日)

9時00分 開場 9時30分 開会

開会挨拶 9:30～9:40

会 長：岡田 浩一（埼玉医科大学病院 腎臓内科）

大会長：森下 義幸（自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科）

一般演題1 9:40～10:40

座長：大島 直紀（防衛医科大学病院 腎臓内科）

池田 直史（社会医療法人財団石心会 さやま腎クリニック 人工透析内科）

O1-1 Aperta NSE[®] PTA の使用経験

自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科 渡邊 祐作 他

O1-2 埼玉県における災害に関する透析患者理解度の調査

埼玉県透析医会 雨宮 守正 他

O1-3 当院における災害時の情報共有体制の見直しと防災委員会の活動報告

医療法人財団石心会 さやま腎クリニック 医療技術科 CE室 塩澤 歩 他

O1-4 血液透析患者における新型コロナウイルスワクチン4回接種後の
抗体価と関連因子に関する検討

自治医科大学附属さいたま医療センター 平井 啓之 他

O1-5 当院血液透析患者における健康行動理論の観点からみた
感染症状の事前連絡に関する検討

医療法人健正会 須田医院 看護部 井上 佳奈絵 他

O1-6 集中治療部門への入室を必要とした COVID-19陽性患者の持続的腎代替療法を含む
生命維持管理装置の使用状況について

自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部 小藤 誠也 他

共催セミナー I 10:40～11:40

(共催:株式会社カネカメディックス)

座長:清水 泰輔(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科)

下肢治療の A to Z to Rheocarna

大熊 慧(三愛病院 循環器内科)

休憩 11:40～11:50

ランチョンセミナー 11:50～12:50

(共催:ノーベルファーマ株式会社)

座長:森下 義幸(自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科)

透析患者の脳内酸素動態に貧血および栄養状態が果たす役割
—亜鉛補充の臨床的意義も含めて—

大河原 晋(自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科)

埼玉透析医学会総会 12:50～13:20

会 長:岡田 浩一(埼玉医科大学病院 腎臓内科)

事務局:友利 浩司(埼玉医科大学病院 腎臓内科)

埼玉腎不全看護研究会の報告 13:20～13:30

一般演題 2 13:30～14:20

座長:塚本 功(埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部)

新井 実延(北里大学メディカルセンター 腎センター)

O2-1 機械学習を用いた血液透析患者の血清アルブミン値予測モデルの構築と比較

医療法人社団偕翔会 さいたまほのかクリニック 臨床工学課 早坂 秀幸

O2-2 当院におけるエコー下穿刺者増員のための試み

医療法人社団悠友会 あさか台透析クリニック 真田 洋介 他

O2-3 過酢酸系洗浄剤ステラケア CA の希釈倍率の検討

医療法人さくら さくら記念病院 血液浄化部 加藤 直樹 他

O2-4 透析中の低分子ヘパリン投与方法変更の検討

社会医療法人財団石心会 さやま腎クリニック CE室 田村 奈々 他

O2-5 BH 作成による痛み評価の比較

医療法人さくら 北朝霞駅前クリニック 血液浄化部 大須賀 有輝也 他

共催セミナーⅡ 14:20～15:20

(共催:株式会社ヴァンティブ)

座長:岡田 浩一(埼玉医科大学病院 腎臓内科)

『埼玉県において腹膜透析を普及させるために』

講演Ⅰ 埼玉県の腹膜透析

～現況と実際～

清水 泰輔(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科)

講演Ⅱ 腹膜透析の進歩・メリット

～高齢化社会におけるPDをふまえて～

星野 太郎(さいたま赤十字病院 腎臓内科)

ディスカッション 「埼玉県における腹膜透析の普及・浸透に今、何が必要なのか？」

休憩 15:20～15:30

アフタヌーンセミナー 15:30～16:00

(共催:協和キリン株式会社)

座長:友利 浩司(埼玉医科大学病院 腎臓内科)

CKD-MBD 管理のアップデート

野原 惇(くぼじまクリニック)

一般演題3 16:00～17:00

座長：星野 太郎(さいたま赤十字病院 腎臓内科)
野原 惇(くぼじまクリニック)

- O3-1 ICG 腹腔内注入及び胸腔鏡による赤外光観察を用いて
瘻孔同定・修復を行った横隔膜交通症の1例
一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院 腎臓内科 日高 有司 他
- O3-2 死亡後に診断しえた血液透析患者の Wernicke 脳症の一例
獨協医科大学埼玉医療センター 腎臓内科 堀中 重義 他
- O3-3 嚢胞感染を繰り返す多発性嚢胞腎に対して、
根治的腎摘出術により再発抑制が得られた一例
秩父市立病院 内科 齊藤 博司 他
- O3-4 Mycobacterium abscessus トンネル感染を引き起こし治療に難渋した
腹膜透析患者の一例
獨協医科大学埼玉医療センター 腎臓内科 佐藤 栄奈 他
- O3-5 術後 AKI 患者に対して、ICU 管理栄養士が栄養管理介入を行った一例
自治医科大学附属さいたま医療センター 栄養部 猪野瀬 渚 他
- O3-6 原発性胆汁性胆管炎(PBC)を基礎疾患にもつ維持透析患者において
透析中に肝性脳症を呈した一例
獨協医科大学埼玉医療センター 腎臓内科 海渡 彩 他

閉会挨拶・BPA 表彰 17:00～17:10

大会長：森下 義幸(自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科)

一般演題

編集後記(第13巻 第2号)

はじめに、今年1月に発生した能登半島地震により被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

今年の幕開けは暗いニュースで始まりましたが、その後、フランス・パリで開催された夏季オリンピック・パラリンピックでは多くの日本選手が素晴らしい活躍を見せ、私たちに感動と熱狂をもたらしました。その興奮は今でも記憶に新しいものです。

さて、12月8日に予定されている第52回埼玉透析医学会学術集会では、一般演題17題のほか、共催・ランチョンセミナーなど皆さんが熱狂して頂けるような多彩な発表が行われます。ぜひ会場にお越しいただき、皆さまとともに充実したひとときを共有できれば幸いです。

本誌では、8月に開催された第15回埼玉アクセス研究会のProceedingsも掲載しております。医師のみならず、多職種の先生方がそれぞれの専門的視点から論じた内容は非常に勉強になりました。

スタッフ一同、今後も皆さまとお会いできる機会を心より楽しみにしております。引き続き、埼玉透析医学会へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、先生方のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

埼玉医科大学病院 臨床工学部

吉田 雅毅

埼玉透析医学会 会誌

発行日：2024年11月20日

発行：埼玉透析医学会

発行人：岡田 浩一

編集：埼玉透析医学会 事務局

事務局：埼玉医科大学病院 腎臓内科
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1611 FAX：049-295-7338
URL：http://www.ssdt.jp/
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

編集責任者：友利 浩司

編集委員：吉田 雅毅、鳴海 敏行、伊佐 慎太郎

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

定価：2,000円+税